

日時	2024年3月9日(土) 9:30 ~ 12:00 天候：曇
場所	湿地、2階交流スペース

講座・活動名	<b>湿地モニタリング調査 &amp; 観察園全樹木調査</b> 毎月第2土曜定例
参加者	15名(うち子ども0名) 構成：講師2名、(環境局1名) NTT西日本関西支店4名、エコボラ7名、事務局1名
講師名	鈴木真裕(大公大)、北川ちえこ* (エコボラの場合氏名に*印をつける)
内容	生き物調査、データ入力、(報告書作成)
使用器材 資材・道具	(持参、借用等も含む) 調査用紙、ボード、バケツ、スコップ、鍬、一輪車、粗朶用の竹、ひも、はさみ
振り返り エコボラ通信に掲載することがあります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3月2日に給水を再開するにあたって、給水口に洗濯ネットを取り付けて、給水管などに詰まっていた腐植質や生き物を捕獲し、導水によるアメリカザリガニの混入の可能性をさぐることにした。ただ、洗濯ネットにかかったものは、カゲロウのなかまなどで、アメリカザリガニは入らなかった。</li> <li>・動物調査は、今月から網ですくいとる採集を再開した。</li> <li>・先月、コウホネのため池で、採集し乾燥させたコウホネを、標本として作製した。</li> <li>・給水前(3月2日)と給水後(3月9日)の水質の把握のため、pHとECを測定した。</li> <li>・湿地西側のハコネウツギ近くに出てきた実生のクスノキの抜根を試みたが、途中で根が切れた。</li> </ul> <p><b>全樹木調査の準備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・すでに作っているラミネートラベルで、すでに使用して欠落しているものについてリストアップし、再作成の準備を確認した。</li> <li>・NTT西日本のみなさんに、集まって計測していただく段取りについて、確認した。</li> </ul>
事務局への 伝達事項 次回案内等	★4月第2週に、通常のモニタリングを実施 その後に樹木調査の準備作業を行う。

スタッフ氏名	活動内容	参加者氏名	活動内容
竹原秀樹	草木調査	NTTのみなさん	動物調査、樹木調査準備4名
木山正隆	植物調査	鈴木真裕	動物調査、標本整理
渡辺喜代子	植物調査	北川ちえこ	植物調査、樹木調査準備
芝崎美世子	動物調査	(環境局 諸岡)	植物調査、樹木調査準備
中谷憲一	昆虫調査	(事務局 石黒)	動物試料採集
田中伸二	動物調査		
栂元慶子	植物調査、標本づくり、樹木調査準備		

いずれかに○→(○)裏面に図面、写真等を添付した ( )裏面なし ( )詳細はファイルで提出

図面・写真等 添付面

日時	2024年3月2日(土)	記録者	榎元慶子
講座・活動名	湿地モニタリング調査 予備調査		

### 湿地の状況 240302



北方向 20240302

### 導水前

周囲の石組みははっきり見えている  
降雨続いたが、粗朶までは、水がたまっていない

南方向 20240302



### 湿地の状況 240302

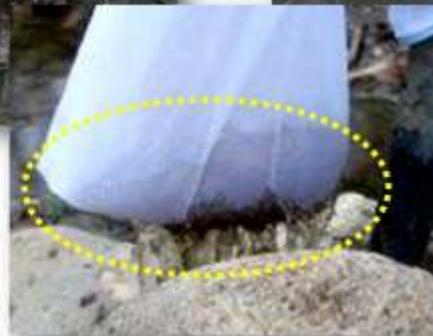


洗濯ネット取り付け状況  
導水開始前

### ネットろ過と導水開始



洗濯ネット取り付け状況  
導水後



洗濯ネットでろ過されて  
給水されている状態

ネット内の残渣に大注目！

日時	2024年3月2日(土)	記録者	柗元慶子
講座・活動名	湿地モニタリング調査 予備調査		

## 湿地水質 240302 導水前



北方向 20240302

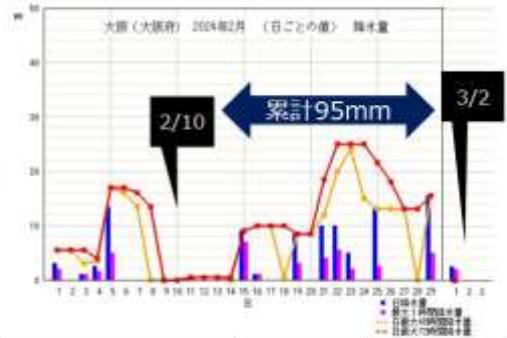


水田B 20240302



水路 20240302

20223に比べて  
pHがやや低くなり、  
ECが高くなっていた  
ベントナイトによる  
高pH状態はもうみられない  
電解質は多くなった  
水色はやや緑がかった



水質分析	pH	EC mS/cm
湿地	6.6	0.24
水田B	6.5	0.15
水路(流水)	6.6	0.15

## 湿地 水色の変化 230204と230223比較

参考

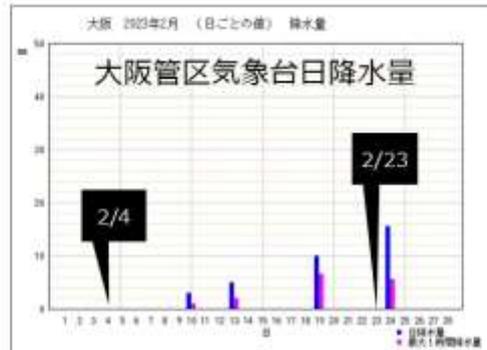
4日は澄んでいた水が、23日は濁って藻類がみえなくなっていた

23日朝、水が止まっていたので  
給水をはじめた(栗山さん)



カルガモが  
食べに来たか?

アオミドロ属が外に出ていた  
20230223



230223 水質分析	pH	EC mS/cm
湿地	7.08	0.15
水田B	7.20	0.14

注: ベントナイトからの浸出が多ければpHが高くなるが、今回は問題なかった。  
水田Bは落葉投入後でやや高め。

日時	2024年3月9日(土)	記録者	柘元慶子
講座・活動名	湿地モニタリング調査		

## 湿地の状況 240309



北方向 20240309

導水再開後1週間：粗朶まで水がたまっている  
 周囲の石組みははっきり見えている  
 給水口につけた洗濯ネットは採集後、再び設置

南方向 20240309



## 湿地の生き物 240309



## 湿地の生き物 240309



## 湿地モニタリング 状況 240309



洗濯ネットに採集したものと、  
網で湿地をすくって採集したも  
のは、別々に扱う



西側に実生クスノキが成長し  
ていたため、伐根した

クスノキの葉には「ハモグリ」の  
食痕があった

## 湿地モニタリング 状況 240309



ユスリカの幼虫

ソーティングの様子  
落葉などかき分けながら、探し出してスポイトで集める



採集したプランクトンなど、マイクロスコプで観察する

## 湿地の生き物 240309



ミジンコ属



ミジンコ属



カイミジンコのなかま



ミジンコ属

## 湿地の生き物と水質 240309



導水後は、ECが低くなった  
工業用水はpH6.9~7.2  
柴島浄水2月はpH7.4  
したがって導水によってpHが若干  
上がったと思われる

水質分析		pH	EC mS/cm
導水直前240302	湿地	6.6	0.24
導水後240309	湿地	7.2	0.15